

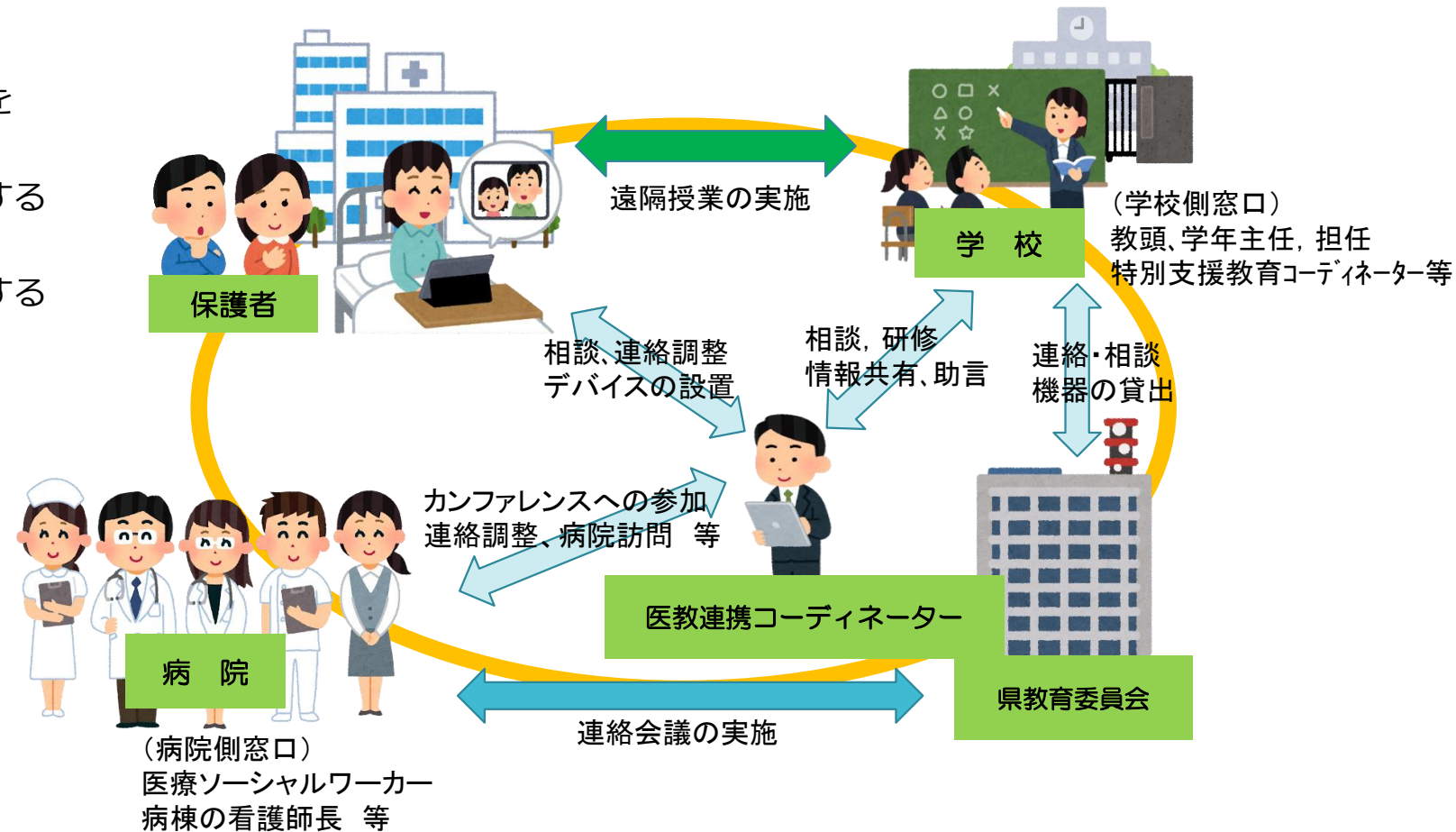
病気療養中等の生徒が治療を受けながら学業を継続できるよう、入院中や退院後の自宅療養中における教育支援の環境を整備にし、学校、医療機関及び教育委員会の関係機関が連携して、ICTを活用した効果的な遠隔教育の活用方法等を始め、教育の保障の在り方について調査研究を実施。

(調査研究の内容)

- 医教連携コーディネーターを活用した病院と学校の連携
- 同時双方向型遠隔授業に関する環境整備
- 同時双方向型遠隔授業に関するデバイス整備と活用
- 実態調査及び事業の周知
- 学校等への理解啓発

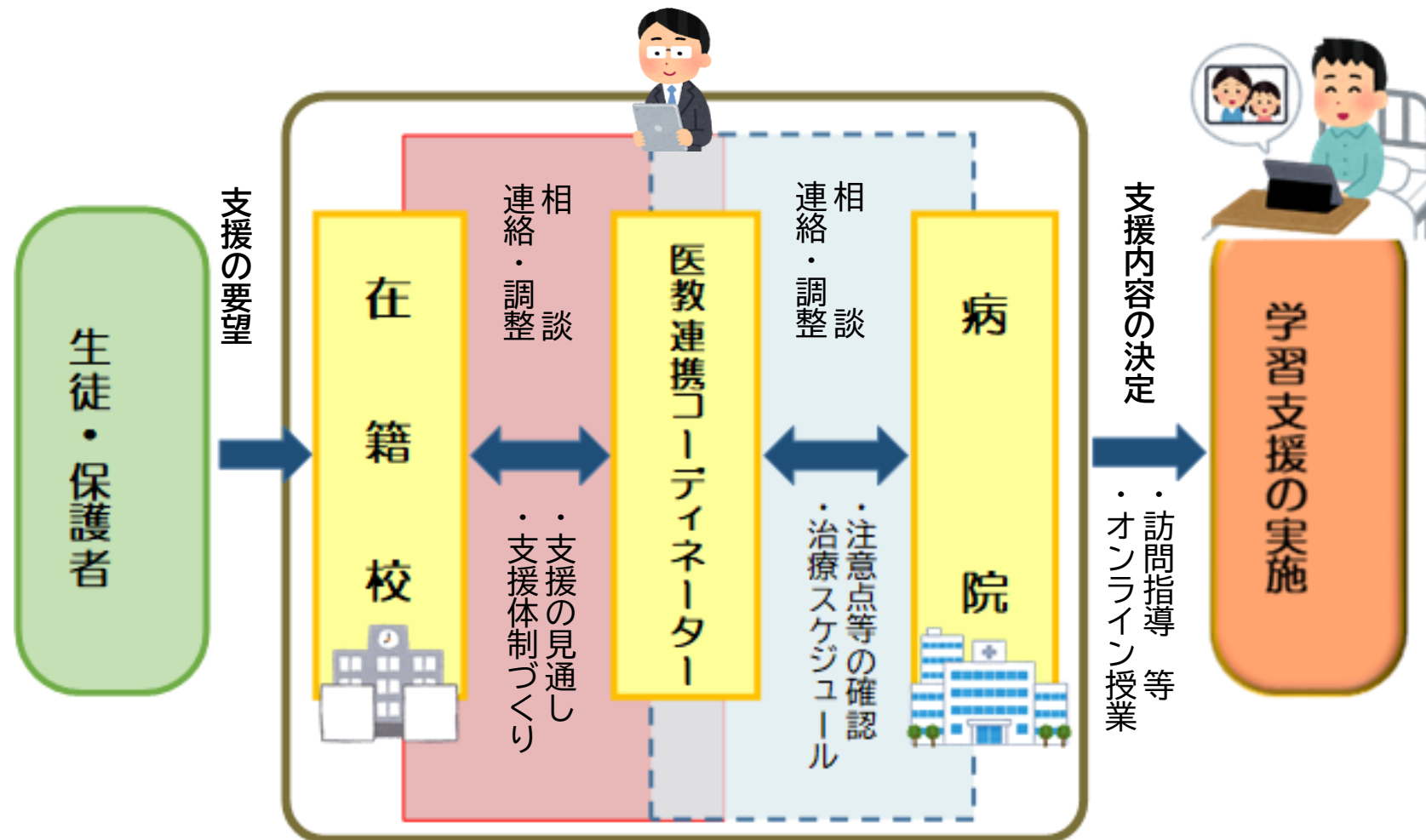
(学習支援の実施)

- Google Workspace for Education (Classroom) の活用
- テレプレゼンスロボット (Kubi) の活用



宮城県では、入院中の高校生に対する教育機会を継続的に保障するため、医療機関と教育機関をつなぎ、連携をコーディネートする「医教連携コーディネーター」を配置。生徒が入院している病院と学校の連携、ICTを活用した学習支援を実施するための環境整備及び支援の実践を積み重ねるとともに、支援の重要性について高等学校及び病院関係者に理解啓発を図る。

病気療養中等の生徒が治療を受けながら学業を継続できるよう、入院中や退院後の自宅療養中における教育支援の環境を整備し、学校、医療機関及び教育委員会の関係機関が連携して、ICTを活用した効果的な遠隔教育の活用方法等を始め、教育の保障の在り方についての調査研究を実施。



入院生徒に対する教育機会を継続的に保障していくため、医療機関と教育機関をつなぎ、連携をコーディネートする役割が必要であることから、本県では医教連携コーディネーターを配置して2年目となる。医教連携コーディネーターは、対象生徒の入院している病院と学校の連携、ICTを活用した学習支援を実施するための環境整備及び支援の実践を積み重ねるとともに、支援の重要性について高等学校及び病院関係者に理解啓発を図る。

医教連携コーディネーター

入院先

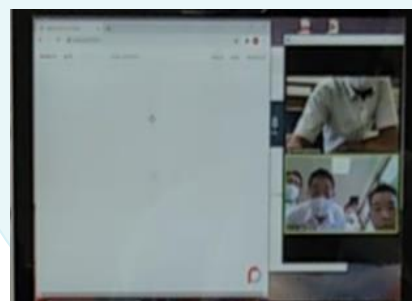


入院先窓口：医療ソーシャルワーカーや  
病棟の看護師長 等

学校



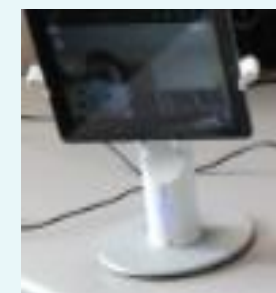
学校窓口：教頭、学年主任、担任、特別  
支援教育コーディネーター 等



県教委PC・学校のタブレット等  
病院の回線を使用 ※入院先の環境による



同時双方向遠隔  
授業の実施  
Google Classroom  
の活用



テレプレゼンセンスロボット  
「Kubi (クビ)」

カンファ参加  
連絡調整  
病院訪問 等

相談、研修  
デバイスの設置  
接続テスト 等